

**福島近県住民は緊急民族大移動すべし!!!、
現場は安定化の確実な手立てを持ってない!!!**

民主党関係者、物理-気候変動科学者等各位への配信メールの改定版(2011/3/20,23)、

[1]: **福島近県住民は原発難民背旗でともかく緊急避難、まだ時間がある。**

(1)2010/8月『原子炉時限爆弾』の預言書著者の緊急論文、

<http://www.asyura2.com/11/genpatu7/msg/236.html>

過去経緯で判る事は指導層面子拘泥での無責任と日本人市民社会の破滅的な盲従、この事態に至って報道等での足の引き合いが見られるが、今、**最大優先**は何かの順序で問題を常に発想すべし。

(2)結論**最優先**は政府行政の **福島近県住民の
緊急民族大移動の発令!!、**

**相馬市長は避難決断、新潟は受け入れを受諾、この方式が
現在ベスト!!!!!!、だから他県の皆も国難覚悟で共に生きる!!!、**

(3)政府が動かないときは上記の様な例の**地方行政-自衛隊と民間協力指導作戦**、

〈現状政府と福島県庁は実働しない〉、今後のバックアップ統合緊急司令部を広島に作れ、

(4)まだ最悪事態になるには時間があると思われます、人の修復救済の最大鍵は

人-物資-情報の流動性確保が第一です。

☞: ここで緊急物資過剰買いだめは巨悪!!、間違いは緊急訂正、ぜひ放出を!!、
核芯危機情報に関しは立場を克服、汚染拡大阻止に多勢で集中解析と早急決断声明を、

(5)以下サイトは福島原発最悪のシナリオ一例!!!、

http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1057660465

(6)良く判る原子力。

<http://www.nuketext.org/kenkoueikyou.html>

[2]: 歴史は繰り返す、

(1)1995年の村山社会党政権下での阪神大震災とオーム真理教地下鉄サリン事件、

3/11＝2011年東北関東大震災と福島原子炉放射能飛散(是はまだ先行不明!!)、

筆者はいずれも**米軍産CIA複合体(米国帰化ナチス勢力)**の人工地震兵器攻撃の戦争犯罪(Wタワ9/11も!)と見てます、

<http://www.777true.net/EARTH-QUAKE-WEAPON-by-USA.pdf>

<http://benjaminfulford.typepad.com/benjaminfulford/2011/03/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%B8%E3%81%AE%E5%9C%B0%E9%9C%87%E5%85%B5%E5%99%A8%E6%94%BB%E6%92%83%E3%81%AF%E7%B1%B3%E5%9B%BD%E3%81%AE%E3%83%8D%E3%83%90%E3%82%BF%E5%B7%9E%E3%81%A8%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%83%A1%E3%82%AD%E3%82%B7%E3%82%B3%E5%B7%9E%E3%81%AE%E7%B1%B3%E8%BB%8D%E5%9C%B0%E4%B8%8B%E5%9F%BA%E5%9C%B0%E3%81%8B%E3%82%89%E7%99%BA%E7%94%9F%E3%81%97%E3%81%9F.html>

(2)共通点は戦後一党独裁自民政権でない**革新政権下事件**、戦後一貫した党是たる社党**安保廃棄**を引っ込め、官僚から民主党**政治主導マニフェスト**主張を引っ込め、主導者小沢氏失墜陰謀に協力、一度米追随姿勢で**保身の対米追従姿勢を示すと、逆の地獄報復**(諜報世界は脅し騙しの逆転世界)、**真実正義**を捻じ曲げて、**世界救済政道**が始まる訳がないのです。

(米オバマ大統領も9/11大真実を無視)。

(3)今回一件の大局的動機は**気候変動危機進行**と**エネルギー寡頭支配**問題：

今回原発危機は世界的な反原発と、石油火力等復帰を誘導に大作用するだろう、

だがそれは一層の最終破綻＝**気候変動危機**を加速する超陰謀(operation END GAME)、この勢力の思想は気候変動対処に必要な80%炭素削減政策でなく、世界人口80%削減を目指す悪魔勢力。この問題詳細言及は次回。

[3]: **最悪シナリオとは”逆”の現政府**＝問題要約としての判断優先順位:

(1)統合司令部問題:

今は人がどうこう言う事態でない、だが長が誤つと組織を滅ぼす!、菅-枝野指導部は救済に動かない、当初政府の30Km圏外福島近県住民も固定、電力も半固定、電車も半固定はまっ逆さま!!!、

(2)危険圏住民の避難。市民も、もう面子でない、福島近県住民は**原発難民**後ろ旗でともかく逃げろ、

相馬市長は避難決断、新潟は受け入れを受諾、この方式が

現在ベスト!!!!!!、 **だから皆も,,,,,,,**

(3)**技術的問題点は唯一、休止燃料棒も含む炉芯放射能漏れ汚染広域拡大の危険性、**

致命的と判断される事情は現場が大量休止中燃料棒も含む”炉芯****

安定化の確実な手立”てを持ってない事!!!、

原子炉工学関係者は**物を立場で言ってる**節があるのです。**この事態に及んで!!!、** 是は発想転換不能＝**既成体制保守現指導層**(政府とマスコミ学会)の致命的欠陥、放置できる内容でないです。

[4]:**補足情報。**

(1)3/17, 福島沖の米艦隊は**80km圏外**に退避、日本在住米人にも避難指示。

同日ロシアサイトでは有難い事に早々と日本からの**難民受け入れ声明**が、

<http://rus.ruvr.ru/>

(2)3/19, 米国は**放射能汚染対策軍チーム派遣**を発表。原発懸念もあり、ニュージーランド、米英独スイスのチームも東北救助活動を終了、海外論調は基本的に深刻悲観的。

(3)筆者手元に届いた元原発技術者の電子メール、その主旨は、

- ・現状は福島第一原発に関して全てを放棄して現場を離れるしかない。
- ・制御できないだけでなく、制御しようと人が近づくことさえできない状態にあると見るのが妥当だ。
- ・恐らく致死量に達していると思われる原子炉周辺に作業員を送り込むことは良識ある判断とは言えない。

これ以上犠牲者を出さないためには現場を放棄し、空からホウ酸を含んだ水の散布などをトライするくらいしか方法がない。恐らく致死量に達していると思われる原子炉周辺に作業員を送り込むことは良識ある判断とは言えない(以上引用)。

この深刻な原発現場認識は正しいのだろう、だが後の広域汚染阻止対策をどうする。

(5)水素爆発を繰り返し、「強度放射能とガレキ」の原発建屋現場!!!=修理安定化は迅速にできるか!?
もし迅速にできればOK終了、だから以下は最悪ケース想定での議論に絞る!!。

(a)炉芯安定化条件は連鎖反応阻止に作用の制御棒が動作(地震発生自動動作)と、反応停止後の何十年長期に渡る使用済み燃料棒自壊発熱を吸収するプール、電動強制水冷回路が動作する事だが、是らが地震津波、その後の水素爆発等で破壊、20日現在修理中、動作可否判明は後日。

(b)電源接続給水回転ならばOK、だがもしモーター、水冷回路故障非動作で修理日数がかかると、強度放射能環境で作業困難～不可能だと、燃料棒温度上昇では破綻方向に進む、

(c)現状は炉芯&廃棄燃料プールに消防放水で遠隔水充填だが、開口のプール充填がうまくいく可能性はあるが、だが炉芯内部充填はうまくいってない!!!。

☞ : 3/20:14.00NHK, 3号炉は圧力上昇、弁開放で放射能外部放出策へ。

☞ : 3/20:16.15NHK, 3号炉はほぼ圧力安定、弁開放で放射能外部放出延期と声明。

廃棄放射性燃料棒性質としても放射性鎮火まで何十年も!!、人手放水作業で何時までもやれない?!!。

(d)強度放射能環境での安定化作業長期難航シナリオ :

最悪は減速冷却用の炉芯水充填がうまく行かない(c)。

→炉芯温度圧力上昇。→破壊防止の為に炉芯弁開放で作業環境放射強度上昇。

→作業環境悪化で修理困難。→炉芯温度圧力上昇(水カラ炊きへ)。

集積燃料棒自壊加熱は当然、自爆に進行、それは一番危険な放射能沈黙広域汚染に直結。

☞ : ロボ腕付きの鉛遮蔽移動可能作業室を至急製作、米露EU軍が持つてるかも?!

☞ : 現場熟知の作業員は人数に限りあり、長期作業になるとマンパワー破綻可能性。

(e)原発圏外への放射能遮蔽対策の可能性。

大型軽量鉄骨シートで建屋を最低限度に被覆できないか?、逆のチェルノブイリの重量級石棺方式は?、是ではヘリ上空から生コンを落としてみたい。

<<→修理作業環境として強度放射能が一層こもる困難=長期放射能垂れ流しの可能性!!>>

(f)大規模墓穴落下埋葬方式(とんでもない工事!, 放射能クリナ吸引ろ過方式ができれば!).

福島原発の最終安定化は石棺方式、又は深度地下埋没策、原発建屋底地下に巨大墓穴建設(地中で放射遮蔽で作業可能)、最終的に上部土層爆破で原発全部を落下、落下埋葬時には原発周辺に築いた土層を上部を埋める方向に同時爆破。上層を被覆する。

(g)居住地域の放射能危険度判定。

I 原発作業員年間許容水準=50mS/年=50000 μ S/365x24h=5.7マイクロシベルト/時。

	3/19日/23:30	3/20日/00:00	評価
福島市県北保健福祉事務所事務局東側駐車	9.97 マイクロシベルト/一時間	9.31 μ S/h	基準超越!
いわき市いわき合同庁舎駐車場	0.77 μ S/h	0.86	基準内
15日新宿区	3/15日 0.809	通常値 0.069	通常の10倍

<http://www.pref.fukushima.jp/j/sokuteichil03.pdf>

II 公衆の一年許容限度=1mS/年=0.11 μ S/時^{*3/23訂正}。

<http://www.nuketext.org/kenkoueikyou.html>

放射線で障害発生は統計的には直線関係だそうです。この値は通常新宿の2倍^{*3/23訂正}。諸氏も各種資料を検証されたし。筆者は40年前、原子核物理研究室に一時所属、放射性物質を扱う現場で、研究者は一時的に放射能を結構浴びるはずですが、皆様は現在まで放射性障害を見てないです(知らされない?、今後確認します→居ないそうです^{*3/23訂正})。筆者は現在放射線障害はないと思いますが、傷害反応発生は確率的です。

(h)決定的決断結論が出るには相当時間がかかる可能性がある。

この期間は原発炉完全遮蔽は不可能なので放射能汚染は長期陰険に拡大する可能性がある!!!。放射線障害は即座に出るのは特例、一般に数(十)年後に陰険に出てくるだろう、従って最悪ケース想定で福島近県圏住人民族大移動すべきだ、まだ時間がある!!!

上記最悪シナリオが空振りになり、笑いものになるのを願います。なほ筆者は原子炉は素人、何名かの物理、原子炉工学研究者からは貴重情報を提供、感謝します。

補補足)

炉芯と廃棄材貯蔵プールへの**水充填**が主役になってるが、水は**冷却材**と同時に本来、

中性子核反応減速材でもあると思う、

水が飢渴すると核反応減速材の機能も低下して危険が増すはずである。

反応制御棒セットだけで反応完全停止？！

閉鎖系の炉で発熱が持続すれば体積(固定値)×圧力＝温度、だから圧力と温度は平行して上下する、赤外線での炉外部温度は参考値で、炉内部温度(設計値＝302℃)推測材料でしかないだろう。

勿論、水は本来の**強制水冷**での伝放熱材。

強制水冷装置が完全機能しない間は炉温度 & 圧力上昇防止で炉の開放弁は開けられ、

* 放射能は陰険に漏洩しつづけるだろう。

* 現場も強度放射能滞留では作業不可能でもある。

* 放射能漏れ口を特定し、大クリーナで吸引ろ過処理できる可能性？！(*3/23追加)。